

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	単クローン性 IgA 沈着を伴った IgA 腎症の検索と臨床的特徴、病理所見、治療および予後の検討
研究責任者	聖隷浜松病院 腎臓内科 伊藤大介、三崎太郎
研究実施体制	当院のみで実施する
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 から 2026 年 3 月 31 日
対象者	1999年1月から2020年10月までの間に聖隷浜松病院腎臓内科に通院または入院したIgA腎症およびIgA血管炎と診断された患者。
研究の意義・目的	IgA が単クローン性に沈着した腎炎が多クローン性 IgA に沈着した IgA 腎症と比較して、異なった臨床的特徴、病理所見、治療および予後を示すかを検討する。これが証明できれば、今後 IgA が単クローン性に沈着した腎炎を従来の IgA 腎症と区別して、従来の IgA 腎症と異なった治療アプローチをすることができる可能性がたかい
研究の方法	<ol style="list-style-type: none"><li>① 当院で 1999 年から 2020 年までに腎生検を実施し、IgA 腎症および IgA 血管炎と診断した患者を後方視的に抽出する</li><li>② 採血採尿データや健診データ(腎生検前後 1 年以内)を用いて年齢、性別、血液データ、尿データ、(身長、体重、BMI、血圧、主疾患名、合併症)を記載する。</li><li>③ 免疫染色で IgG and or IgM が陽性であるものと陰性であるものに分類し、IgG and or IgM 陽性のものを多クローン性 IgA が沈着した IgA 腎症とする</li><li>④ IgG および IgM 陰性のものに関して IgA1/IgA2/κ 染色し、IgA1 か IgA2 のどちらか一方が陽性かつ κ か λ のどちらか陽性のものを IgA 型 γグロブリンが単クローン性に沈着した腎炎とする</li><li>⑤ 多クローン性 IgA が沈着した IgA 腎症と IgA が単クローン性に沈着した腎炎の評価を腎組織の光顕所見と 5 年間の臨床フォローアップの比較で行う</li></ol>
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 腎臓内科 (氏名)伊藤大介 TEL:053-474-2222(代表) 腎臓内科外来 9:00~17:00 平日